

実践例：小学校学級活動

群馬県教育委員会

単位時間の活動例：第3学年「仲良し集会をしよう」

ICT活用の場面及び機能とよさをチェック!



事前の活動

1. 「議題」、「提案理由」、「話し合いのめあて」などを学級全体で確認する。
めあて：クラスみんなが仲良くなれる集会の内容を決めよう。



短時間で！
効率的に！

□ 提示・配布機能

友達との関わりについての事前アンケート結果や提案理由を提示し、話し合いのめあてをつかませる。

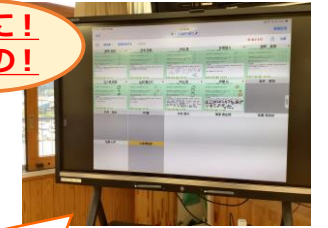
2. 集会の内容について、一人一人の意見を発表する。



クイズがしたいな。

瞬時に！
全員の！

いつでも！
手軽に！



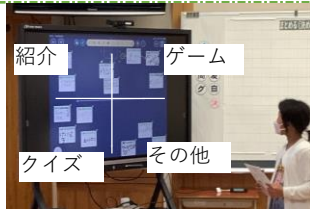
□ データの保存・提出機能

□ 一覧表示機能

端末に自分の意見を書き込み、提出させる。

全員の意見を集約した一覧表を基に、自分の意見の理由を発表させる。

3. それぞれの意見を分類したり、整理したりして、互いの考えの違いや共通点を確認する。また、めあてや提案理由、活動の条件などを基に、意見を比べ合う。



出された意見を思考ツールを活用して、集会の内容の相違点を明確にしながら「紹介」「ゲーム」「クイズ」などに分類・整理させる。

□ 共同編集機能

同時に！
全員で！



〇〇さんも言っていたように、「宝探し」にすれば、みんなで協力しながらできますが、ルールが複雑なので、「借り物競走」の方がみんなが楽しみながらできると思います。

4. 集団として「合意形成」を図り、集会の内容を決める。



少数意見を大切に

多様な意見のよさを生かして

めあてや提案理由を踏まえて

「自分にとっても、みんなにとってもよいこと」を

本時の話し合いのめあてに対する評価や仲良し集会への実践意欲等を端末に書き込み、提出させる。

□ データの保存・提出機能

いつでも！
手軽に！



【児童の振り返りより】

自分の意見に決まらなかったけど、提案理由を基にしたり、お互いの思いを大切にしたりしながら、集会の内容が決められたのでよかったです。

事後の活動